

日高村

1人1台端末の利活用に係る計画

【1人1台端末を初めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿】

1人1台端末を利用し、児童生徒が「課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぶ」姿の実現を目指します。そして、情報教育を体系的に推進するとともに、教師、児童・生徒の双方が授業においてコンピュータや情報通信ネットワーク等の情報手段を活用することで、情報活用能力の育成を目指します。

【GIGA第1期の総括】

令和2年度に1人1台端末や通信ネットワーク整備を始め、全児童生徒への端末整備が完了し、令和3年度より端末の持ち帰りを各校で徐々に開始した。端末の整備に伴い、小学校の授業では資料の提示やスライド作り等に用い、持ち帰りでは授業で終わらなかった課題の実施や、音楽会に向けた練習のためパート別に分けた動画を視聴する等様々な場面で活用され始めている。

これらの取組を実施する中で、今後の課題としては以下のとおりである。

- (1) 児童生徒数の増加や端末の故障に伴い、端末が児童の手元でない期間が発生したため、第2期では児童生徒の学習が止まることがないように端末の整備を行う必要がある。
- (2) 端末の持ち帰りは少しずつ始めているが、紙ベースでの宿題などが多く積極的な持ち帰りはまだ進んでいない状況である。
- (3) 端末活用に少しずつ教員や児童生徒が慣れ始めてきたが、単線型での授業が多いため、今後は複線型の授業に移行し自分で考え授業を進めていくスタイルが必要になってくると思われる。

【1人1台端末の利活用方策】

- (1) 1人1台端末の積極的活用を進めるために

各校の教員がICT活用を積極的に進める事ができるよう、研修等通じてICT教育に関する理解を更に深めていきます。また、ICT支援員を継続的に配置し、ICT活用における各種支援を行っていく。

- (2) 個別最適な学び協働的な学びの一体的な充実のために

端末を用い、児童生徒一人ひとりが自分で考え学ぶ力を育むとともに、児童生徒が互いに多様な意見を共有し、協働的な学びが深められるようICTを積極的に活用していく。

- (3) 全ての児童生徒の学びの保証のために

不登校児童生徒や障害のある児童生徒など、すべての児童生徒が学ぶ機会が得られるようICTを通じて個々に応じた支援を行います。